



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月27日

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8014 URL <https://www.chori.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀨 一夫
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	255,379	24.1	10,927	48.1	11,010	35.0	7,548	29.0
2022年3月期第3四半期	205,835	30.8	7,377	86.2	8,158	86.7	5,851	213.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 9,091百万円(32.8%) 2022年3月期第3四半期 6,846百万円(177.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	306.77	—
2022年3月期第3四半期	237.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	151,364	71,851	47.5
2022年3月期	134,121	65,096	48.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 71,846百万円 2022年3月期 65,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	42.00	—	42.00	84.00
2023年3月期	—	50.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は本日(2023年1月27日)公表の「通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	19.7	12,500	34.0	13,000	26.5	8,600	26.3	349.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は本日(2023年1月27日)公表の「通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) ー

除外 一社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期3Q	25,303,478株	2022年3月期	25,303,478株
2023年3月期3Q	696,357株	2022年3月期	694,494株
2023年3月期3Q	24,607,608株	2022年3月期3Q	24,605,597株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻は出口が見えず、欧米とも政策金利の利上げ幅の縮小は見られるものの、インフレの継続で金利の引き上げが続いており、また、中国ではゼロコロナ政策からの転換により一時的に感染が拡大したことで混乱が見られる等、景気の後退懸念が増大しています。日本経済は、ウィズコロナの生活様式が浸透し、足元の個人消費は持ち直し傾向が見られますが、原材料価格高騰等を要因とした各種消費財の値上げは収束しておらず、加えて、金融政策の修正が決定され、為替相場は急速に円高に進む等、先行きの不透明な事業環境が継続しています。

このような状況下、当社グループは、2020年5月29日に発表した中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022」に基づき、激変する社会・経済環境へ即応すべく、リスク管理を始めとした「守り」の施策を一層徹底する一方、持続的成長のための基本戦略を積極的かつ着実に推進しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、大幅増収大幅増益となり、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益はともに過去最高益を更新しました。売上高は前年同期比24.1%増の2,553億79百万円、営業利益は前年同期比48.1%増の109億27百万円、経常利益は前年同期比35.0%増の110億10百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比29.0%増の75億48百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	205,835	255,379	49,543	24.1
営業利益	7,377	10,927	3,549	48.1
経常利益	8,158	11,010	2,852	35.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,851	7,548	1,697	29.0

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	81,627	110,935	29,308	35.9
経常利益	2,309	3,652	1,342	58.1

当セグメントにおきましては、国内衣料品分野が回復基調にあり、またサステナブル商材の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期比35.9%増の1,109億35百万円、セグメント利益（経常利益）は前年同期比58.1%増の36億52百万円となりました。

② 化学品事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	120,767	140,656	19,889	16.5
経常利益	5,120	7,170	2,050	40.0

当セグメントにおきましては、全般的に堅調に推移しました。特にファインケミカル分野や無機ファイン分野が好調に推移したことにより、売上高は前年同期比16.5%増の1,406億56百万円となり、セグメント利益（経常利益）は前年同期比40.0%増の71億70百万円となりました。

③ 機械事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	3,383	3,724	340	10.1
経常利益	686	163	△523	△76.3

当セグメントにおきましては、欧州、中米向け販売が好調に推移したことにより、売上高は前年同期比10.1%増の37億24百万円となりました。一方、セグメント利益（経常利益）は、アラブ首長国連邦の取引先に対する貸倒引当金を追加計上したこと等により、前年同期比76.3%減の1億63百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,513億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ172億43百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が140億41百万円、商品及び製品が36億38百万円、現金及び預金が11億76百万円増加し、未着商品が22億96百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、795億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ104億88百万円増加しました。これは主に、短期借入金が62億円、支払手形及び買掛金が35億62百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、718億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ67億54百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により75億48百万円、為替換算調整勘定が26億49百万円増加し、配当金の支払いにより22億63百万円、繰延ヘッジ損益が8億91百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2022年4月28日に公表しました2023年3月期の連結業績予想の内容を変更しております。

詳細につきましては、本日(2023年1月27日)公表の「通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,242	13,418
受取手形及び売掛金	74,272	88,313
商品及び製品	17,346	20,984
仕掛品	1,045	940
原材料及び貯蔵品	4	5
未着商品	3,704	1,407
その他	6,220	6,634
貸倒引当金	△964	△1,360
流動資産合計	113,871	130,343
固定資産		
有形固定資産	1,964	2,045
無形固定資産		
のれん	1,053	688
顧客関連資産	993	918
その他	401	996
無形固定資産合計	2,449	2,604
投資その他の資産	15,836	16,370
固定資産合計	20,249	21,021
資産合計	134,121	151,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,213	55,776
短期借入金	4,944	11,145
1年内返済予定の長期借入金	113	113
未払法人税等	2,028	1,720
賞与引当金	916	534
関係会社整理損失引当金	42	42
その他	5,203	6,760
流動負債合計	65,461	76,092
固定負債		
長期借入金	245	160
繰延税金負債	843	672
退職給付に係る負債	2,366	2,374
その他	107	212
固定負債合計	3,562	3,420
負債合計	69,024	79,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,799	1,804
利益剰余金	54,804	60,057
自己株式	△689	△689
株主資本合計	62,714	67,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,221	989
繰延ヘッジ損益	285	△605
為替換算調整勘定	917	3,566
退職給付に係る調整累計額	△84	△76
その他の包括利益累計額合計	2,340	3,873
非支配株主持分	41	5
純資産合計	65,096	71,851
負債純資産合計	134,121	151,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	205,835	255,379
売上原価	183,553	226,839
売上総利益	22,282	28,539
販売費及び一般管理費	14,904	17,612
営業利益	7,377	10,927
営業外収益		
受取利息	176	215
受取配当金	281	220
持分法による投資利益	131	151
為替差益	216	-
債務勘定整理益	57	36
雑収入	204	244
営業外収益合計	1,067	868
営業外費用		
支払利息	57	276
手形売却損	96	285
為替差損	-	61
雑支出	133	162
営業外費用合計	287	785
経常利益	8,158	11,010
特別利益		
投資有価証券売却益	221	390
固定資産売却益	318	8
関係会社整理益	-	7
関係会社株式売却益	18	-
特別利益合計	558	406
特別損失		
固定資産処分損	2	8
投資有価証券評価損	-	8
ゴルフ会員権評価損	-	2
減損損失	21	-
関係会社整理損	16	-
投資有価証券売却損	7	-
特別損失合計	48	19
税金等調整前四半期純利益	8,668	11,398
法人税、住民税及び事業税	2,737	3,677
法人税等調整額	76	166
法人税等合計	2,814	3,844
四半期純利益	5,854	7,554
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,851	7,548

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,854	7,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△232
繰延ヘッジ損益	△26	△891
為替換算調整勘定	800	2,138
退職給付に係る調整額	10	7
持分法適用会社に対する持分相当額	197	514
その他の包括利益合計	991	1,537
四半期包括利益	6,846	9,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,844	9,082
非支配株主に係る四半期包括利益	1	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	81,627	120,767	3,383	205,778	57	205,835	—	205,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	341	341	△341	—
計	81,627	120,767	3,383	205,778	398	206,176	△341	205,835
セグメント利益	2,309	5,120	686	8,116	31	8,147	10	8,158

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額10百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。

3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社スミテックス・インターナショナル(現・株式会社STX)の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「繊維事業」のセグメント資産が10,668百万円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	110,935	140,656	3,724	255,316	62	255,379	—	255,379
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	344	344	△344	—
計	110,935	140,656	3,724	255,316	407	255,723	△344	255,379
セグメント利益	3,652	7,170	163	10,985	53	11,039	△28	11,010

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△28百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。
3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。